

平成29年度第3回史跡めぐり

梅香る小田原へ

平成30年3月8日（木）実施

あいにくの雨模様の中、総勢43名で午前八時過ぎに出発
雨のためいつもより車が多く高速までに渋滞に巻き込まれる。
予定時間より少し遅れ、最初の見学地

「尊徳記念館」へ到着

「二宮金治郎」の銅像はほとんどの方が記憶にありましたが、尊徳が大人になつてからの功績である「報徳精神」の（至誠、勤労、分度、推譲）はあまり知られていませんでした。



尊徳記念館館内

報徳思想

「各自が財力に応じて支出計画をたてることを「分度(ぶんど)」といい。このことにより生じた余剰を社会に還元することを求める。これを「推譲(すいじょう)」という。分度をたてて推譲を図ることによって人は苦境を脱し、一村は再興され、藩もまた立ち直るとした。」



雨のため、生家の建物の説明は屋根の下で受けました。

次は「清閑亭」へ。黒田長成侯爵（黒田官兵衛の子孫）の別邸である

小田原城横の小高い丘の上にある
数寄屋造りの2階建ての建物。
座敷には松の大きな板や屋久杉
の天井板が使用されている。



2階からの景色は、晴れていれば
相模湾が見えるとのことでしたが
あいにくの雨で見ることができま
せんでした。



昼食は、「鈴廣の里」

箱根駅伝の中継地としても有名

千世倭楼（ちょうわろう）
潮の音にて一休み、

売店でかまぼこ等をお土産に



昼食後、「小田原城址公園」へ

北条氏の居城として有名

小田原観光ガイドさんの説明を受けながら見学。

修復された住吉橋を渡り銅門（からがねもん）へ



銅門の柱は石垣へ
ぴったりくっつく
ように加工されて
いました。



常盤木門（ときわぎもん）を
くぐり天守閣へ

1階には、江戸時代の小田原城の模型、5階には天守が再現されていました



天守閣



関東大震災の際に崩れ落ちた石垣がそのまま残されていました。

最後の見学地、「石垣山一夜城」秀吉が北条氏を攻めるときに造った。

雨がますます強くなりましたが、壮大な石垣が残る城跡を雨にも負けず歩きました。



南曲輪の石垣

穴太衆（あのうしゅう）により築かれた野面積みの石垣が残っています。石垣の石はこの山から出たそうです

本丸

